

安全運転
のぼり旗

児童の絵 通学見守る

コンクール
上位入賞作 事故防止に一役

熊本交通安全協会

と下林さん。

熊本北合志署管内の地区交通安全協会は、50本を借りました。14日は、熊本市立北部東小の校門にのぼり旗を掲げ、登校する新1年生らを見守りました。協会の田尻一男会長は「通学路では、スピードを落とさずに走行する車もいて危険。子どもたちが安全に登下校できるように、活動に力を入れたい」。

子どもたちを事故から守ろう！ 県交通安全協会は、県内の小中学生が描いた交通安全ポスターをあしらったのぼり旗約500本を作りました。児童の登下校の見守り活動などに取り組み個人や団体に無料で貸し出すことになっており、「子どもたちの作品を見て、事故防止の意識を高めてほしい」と話しています。



県交通安全協会が作ったのぼり旗。子どもたちが描いたポスターをあしらっています。菊陽町



北部東小の校門にのぼり旗を掲げ、児童の登校を見守る熊本北合志地区交通安全協会の田尻一男会長(写真左) =熊本市北区

のぼり旗に採用したポスターは、「2021年度JA共済全国小中学生書道・交通安全ポスターコンクール」で上位入賞した3作品。歩きながらスマートフォンを使うなど「ながらスマホ」の危険性を訴えています。

県知事賞の熊本市立河内小6年下林結さんは、母親と車で出かけた際、スマホを持ってイヤホンをつけ、片手で自転車に乗る危険運転を見てポスターを描きました。「交ルールを守る大切さを考えてもらえたらうれしい」

※のぼり旗の貸し出しは、
県交通安全協会 ☎096
(233) 2110。

(藤山裕作)